



誠・力・光

令和6年4月15日

練馬区立北町中学校

学校だより 4月号

春の陽の中で伸びゆく緑

校長 中嶋 雅彦

東京の桜は、3月下旬に寒の戻りがあったため平年より遅い3月29日となりました。開花後は平年より暖かい日が多く開花が順調に進み、本校校庭の桜も開花から約1週間後には満開を迎えました。春の草花は新入生の入学や2,3年生の進級を祝うかのように、その緑を濃くし花を咲かせています。今年度は、116人の新入生を迎え、全校生徒361人という生徒数で出発しました。北町中の良き伝統をさらに発展させ、新たなことに挑戦していく令和6年度にしたいと考えています。

新入生には、「自らの良さを日々の学びの中でのなるべく多く見つけてください」「自ら考え、判断し、行動してください」「心も身体も大切にしてください」という3つのこととお話ししました。人としての基礎を作る中学時代に、学ぶことにより身に付けられる視野の広さをできるだけ大きくし、その後の人生をさらに充実させることにつなげさせたい。朝見た桜が、夕刻には、その花数を大きく変えているように、本校の生徒たちも学校から家に帰るときには心身ともに充実している教育活動を実践していきます。教育目標にもある「知・徳・体」の育成についても、日々の学習活動の中で、行事を通して、生徒に伝えていきたいと考えております。

さて、令和6年度は、下記の4つの理念で、学校を運営していきます。

- 多くの可能性を秘めた生徒を、学びに向かうことで、その興味や関心の幅を広げさせ、自らの力を伸ばしていく教育活動を行う。
- 人との関わりを通して、自他の違いを知り、ともに大切にしていきながら自らの幸せを見つけるために必要な学ぶ力を身に付けさせていく。
- 時代の要請や変化とともに教育内容や方法を改善することにより、柔軟に変化に対応していく力を身に付けさせる教育活動を計画し、実践していく。
- 地域における学校であることを大切に、その地域力を活用し、良きものを大切に継承するとともに、社会の一員である自覚をもたせる。

学校で興味、関心の幅を広げ、学びの楽しさを味わうことが、真の生きる力となり、生涯自分らしい幸せを追求する原動力となります。授業や体験学習などのあらゆる機会を活用し、生徒がその力を獲得できるよう教育活動を推進していく決意です。今後も保護者や地域の方々ともその力を活用して、地域の学校としてふさわしい取り組みを行っていきます。